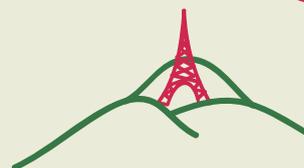
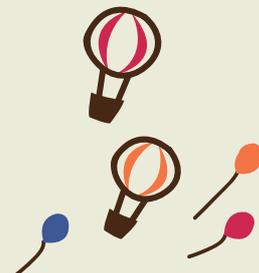


# 介護が必要になっても 住み慣れた仙台で、 ずっと暮らすために。

～自分らしい暮らしが出来る仙台を考えるシンポジウム～

2016・10／8 SAT 13:00～17:00  
受付・12:30～

場 所・仙台市情報・産業プラザネットU 多目的ホール  
参加費・¥1,000



## 特別講演

国際医療福祉大学大学院  
教授  
堀田 聡子 氏

## シンポジスト

仙台市  
介護予防推進室長  
木村 ミカナ 氏

おれんじドア  
今田 愛子 氏

地域生活支援オレンジねっと  
代表  
荒川 陽子 氏

長町病院  
医師  
千葉 明日香 氏

むらた日帰り外科手術・WOCクリニック  
管理栄養士  
塩野崎 淳子 氏



## FAXでのお申し込み

裏面の申込書を下記へお送り下さい。

022-781-9853

## WEBでのお申し込み



「こくちーず」サイト内にて事前登録をお願い致します。  
<http://kokucheese.com/s/event/entry/416806/>

後援

宮城県 / 仙台市 / 仙台市医師会 / 仙台歯科医師会 / 仙台市薬剤師会 / 宮城県看護協会 / 宮城県老人保健施設連絡協議会 / 仙台市老人福祉施設協議会 / 仙台介護サービスネットワーク / 仙台市地域包括支援センター連絡協議会 / 宮城県ケアマネジャー協会 / 宮城県理学療法士会 / 宮城県作業療法士会 / 宮城県栄養士会 / 宮城県柔道整復師会 / 河北新報社 (順不同)

主催・せんだい医療・福祉多職種連携ネットワーク ささかまhands

# 開催への想い

ささかまhandsは、  
「介護が必要になっても安心して暮らせる仙台にしたい」  
「医療・介護・福祉の専門職同士が、横の繋がりを持ち、より力を発揮できる体制をつくりたい」  
という想いのもと、平成25年3月に  
医療・介護・福祉の現場の声を受けて設立されました。

多くの方々の応援を頂きながら専門職同士の横の繋がりを作るための活動や  
想いを共有するためのイベントなど、専門職の顔・腕・心が見える活動を行っています。

仙台で、地域包括ケアシステムを具現化するためにはどうしたらいいか？

ささかまhandsが産声をあげて3年経った今  
皆さんと一緒に考える機会を作りたいと考えました。

このシンポジウムを機会に、仙台をより安心して暮らせる地域にするために  
「仙台だから出来ること」を皆様と一緒に考え、行動していければと思います。

12:30 開場・受付開始

13:00 開会挨拶

13:10～14:10 【第1部】講演 「そもそも、地域包括ケアシステムってなに?!」  
講師・国際医療福祉大学大学院 教授 堀田 聡子氏

14:15～15:00 【第2部】パネルディスカッション  
「自分らしい暮らしができる仙台を創るために」  
①行政の取り組みについて 仙台市 木村 ミカナ 氏  
②当事者・サポーターから伝えたいこと おれんじドア 今田 愛子 氏  
③地域生活支援の取り組みについて 地域生活支援オレンジねっと 荒川 陽子 氏  
④在宅医療での取り組みについて 医師 千葉 明日香 氏  
⑤食を通しての多職種地域連携について 管理栄養士 塩野崎 淳子 氏

15:15～16:50 討論会

16:50～17:00 閉会挨拶

○ 懇親会 … 2016/10/8 19:00～21:00 DUCCA 仙台駅前店 会費・4000円 定員・100名

FAX:022-781-9853

FAX 申込書 応募締切:2016,10/6(THU)

お問い合わせ:sasakamahands@gmail.com ※メールでのお申し込みは受け付けておりません

お名前	会社名等	懇親会	連絡先(メールアドレス又は電話番号)